

# へつぎ病院 外来診療担当表

午前診療(9:00~12:00) 2025年10月よりへつぎ診療所の外来診療科をへつぎ病院に移動しました 2026.1.1~

診療科名	月	火	水	木	金	土
新患担当	村田 由季恵	宮本 涼子	日井 秀門	宮本 涼子	波津久 崇幸	○
外科 / 大腸・肛門外科	白水 章夫		白水 章夫		白水 章夫	大学医師交替
発達相談外来(要予約)						佐藤 圭右(2・4)
整形外科	今川 正人 (臨時は11:00まで)	今川 正人 (臨時は11:00まで)		今川 正人 (臨時は11:00まで)	岩崎 達也 (臨時は11:00まで)	大学医師交替 (1・3・5)
小児整形外科				岩崎 達也 (臨時は11:00まで)		
消化器内科				力丸 真理奈		
呼吸器内科	濱中 良丞	梅木 健二	廣田 昇馬	濱中 良丞	梅木 健二	
内科1			波津久 崇幸		山本 納奈	局 哲夫
内科2	宮本 涼子	波津久 崇幸	宮本 涼子	波津久 崇幸	宮本 涼子	波津久 崇幸
糖尿病・内分泌内科	局 哲夫		局 哲夫	局 哲夫	局 哲夫	
尾関 良則	野口 貴昭					尾関 良則(13.5) 正木 孝幸(2.4)
脳神経外科		糸井 泰朋 (10:00~)	尾藤 昭次			
腎臓内科	岡部 英司			岡部 英司 (予約のみ)	内田 大貴	
循環器内科	日野 充貴	河野 嘉之	佐藤 崇史 (予約のみ)	※鳥越 久美栄	河野 嘉之	
循環器・睡眠時無呼吸センター	田村 彰	秋好 久美子	田村 彰		田村 彰	
リンパ管外科・再建外科			濱田 裕一			
血液内科(要予約) 新患は11:00までに受付		奥廣 和樹			西川 匠	
形成外科						岩本 直朗
神経内科			安高 拓弥			
リハビリテーション	○	○	○	○	○	○

※木曜午前循環器外来は生活習慣病二次検診外来も兼ねる

午後診療(14:00~17:00)

診療科名	月	火	水	木	金	土
新患担当	宮本 涼子	波津久 崇幸	日井 秀門	波津久 崇幸	波津久 崇幸	○
発達相談外来(要予約)			宮本 正史 (新患2名)			佐藤 圭右(2・4)
内科		波津久 崇幸	宮本 涼子	宮本 涼子		
糖尿病・内分泌内科	局 哲夫	正木 孝幸(2・4)	局 哲夫	局 哲夫		
整形外科		田仲 和宏				
小児整形外科		岩崎 達也(2・4・5)				
消化器内科 15:00~17:00			佐藤 義浩	佐藤 義浩		
脳神経外科			尾藤 昭次 (予約のみ)			
循環器・睡眠時無呼吸センター	田村 彰		田村 彰	田村 彰		
循環器・生活習慣病二次検診外来(14:00~16:00)				鳥越久美栄(1・3・5) 日野 充貴(2・4)		
泌尿器科			神崎 正徳			
リンパ管外科・再建外科	濱田 裕一					
リンパ浮腫センター	唐原 和秀 (1・3)(15:00~)	唐原 和秀		唐原 和秀		
心臓CT外来				田村 彰 (予約のみ)		
血液内科(要予約) 新患は16:00までに受付					西川 匠	
緩和ケア外来(要予約)		小栗 洋平		小栗 洋平		
皮膚科			宮本 麻子			
ものわすれ外来(要予約)	宮本 正史		宮本 正史			
神経内科			安高 拓弥			
耳鼻咽喉科	大学医師交替			大学医師交替		
リハビリテーション	○	○	○	○	○	○

1.受付は診療終了の30分前までになります。

2.予約および予約の変更 平日14:00~16:30に電話でのご連絡をお願いします。

発行責任 地域連携室



人々に寄り添い、地域社会に寄り添う

社会医療法人財団天心堂 へつぎ病院

〒879-7761大分市大字中戸次字二本木5956番地

TEL 0570-034577(代表) FAX 097-597-5833



# 天心堂 へつぎ病院 だより

Tenshindo-Hetsugi Hospital NEWS  
2026 New Year



へつぎ病院の  
ここが好き！

入職して28年になります。入職当時、所属事業所の所長からよく言われていたことがあります。「事務職は下ばかり見て仕事したらいいかん！」。今でも「最近下ばかり見て仕事してるな…」と気付くことがあります。そういう時は、当院の3階リハビリ棟から見えるこちらの景色を見るようにしています。ピンチはチャンス！明日からも頑張ろうと気持ちを切り替えることが出来る場所の一つです。

医療統括事務長  
後藤 政彦

2026新春号

## Contents

- ・年頭所感 院長 岡部 英司
- ・令和7年度 天心堂へつぎ病院  
救急症例検討会

# 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当院の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。

ご報告にはなりますが、昨年10月に皆様方のご理解のもと、河野副院長を中心にへつぎ診療所の外来診療科をへつぎ病院に移動いたしました。

本年も引き続きよろしくお願ひいたします。



院長 岡部 英司

私どもは、受診やご紹介いただいた患者さんの疾患や身体的不調を改善させ、自宅や地域での生活が円滑に行えるように、手助けすることを使命としています。

病院には、入院機能、外来機能、薬剤課、検査課、放射線課、リハビリテーション課、食養課、地域連携室、事務、透析センター等様々な部門があり、対象となる患者の皆さんを多職種が連携してサポートしています。多種多様なスタッフがへつぎ病院に集い、県南の二次救急の中核を支えてくれています。

受診いただいた患者さんには、多くの場合ご家族や親族の方がいらっしゃるでしょう。ご紹介いただいた患者さんには、かかりつけの先生や施設のスタッフの方々が関わっておられるでしょう。

患者さんが退院されたら、一言で言ってしまうと「へつぎ病院に入院していました」ということになりますが、その過程ではとても多くの人たちが関わっています。

「袖触れ合うも他生の縁」ということわざがあります。道端で見知らぬ人と袖が触れ合うような些細な出来事も、前世からの深い因縁や宿縁によるものだから、どんな出会いも偶然ではなく大切にすべきという意味のことわざです。

へつぎ病院に関わるすべての患者さん及びスタッフは、ある意思をもって受診したり、働いていると思います。このことわざに準じますと、その関わりを今そこにある個人の意思とは別に、いろんな時代や環境の流れの中で、必然によって関わりを持つようになったと捉えることができます。人との繋がりが希薄になりつつある世の中ですが、必然によって関わりを持つことができたと意識することで、患者の皆さんとスタッフが共により良い人間関係を構築でき、一段と信頼関係が深まってゆくと思います。

我々が、当院と関係する患者さんのみではなく、その周囲で関わる方々のことも意識して対応させていたしたこと、この気持ちが、患者さんと医療機関の点の関係性から、地域に広がる線や面での信頼関係に繋がると考えています。患者さん個人との関係を出発点に、地域の医療機関や施設、更には地域へと、より一層信頼される医療機関に成長してゆければと考えています。

今後とも、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## 令和7年度 天心堂へつぎ病院救急症例検討会を開催しました

令和7年10月23日、「令和7年度 天心堂へつぎ病院 救急症例検討会」を開催しました。本検討会は、会議室での対面参加とZoomを併用したハイブリッド形式で実施し、コロナ禍以降、実に5年ぶりの開催となりました。当日は会場に60名が出席し、そのうち10名は救急隊員の皆さんにご参加いただきました。そのほかZoomを通じて12の救急隊にもご参加いただき、幅広い職種・地域からの参加となりました。



全体の写真

座長は河野嘉之副院長が務め、院内各診療科から3症例の発表が行われました。

はじめに、脳神経外科の尾藤昭次医師より「5回の嘔吐と下痢で搬送され、急激に神経症状の悪化を認めた小脳虫部出血の一例」と題した症例報告があり、初期症状の捉え方や迅速な判断の重要性について共有されました。

続いて、整形・小児整形外科部長の岩崎達也医師からは「病的骨折の実際と治療プロセス」をテーマに、診断から治療方針決定までの流れについて解説がありました。

最後に、呼吸器内科の梅木健二副院長より「ムカデ咬傷によるアナフィラキシーショックを生じた一例」が報告され、救急現場での対応や注意点について理解を深めました。

質疑応答では、救急隊の方々から救急要請現場での判断や対応に関する質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。また、小児整形分野の症例も含め、当院における救急受け入れ体制への要望も述べられ、今後の連携強化に向けた貴重な意見交換を共有する良い機会となりました。

当院では、今後も救急医療の質向上と地域医療機関・救急隊との連携強化をめざし、症例検討会を継続的に開催してまいります。



河野嘉之副院長



尾藤昭次医師



岩崎達也 小児整形外科部長



梅木健二副院長